

日電協、日工組が通知

「傾斜値2・0枚規制」自主的措置 新たに追加

日電協、日工組は10月15日、「傾斜値2・0枚規制の実施について」と題する通知を日遊協に発した。

両組合は7月21日付で、「回胴式遊技機におけるのめり込み防止に関する自主的な措置」として、自

自主規制実施後の申請及び販売イメージ																					
規制内容	2015						2016						2017								
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
規制内容	①入賞Sim規制 通過						②傾斜値2枚規制 通過						サブ管理タイプ 新台設置期限								
型式申請	5.5号機(メイン管理AT) ※入賞Sim出玉率 ≥ 1.0 傾斜値 ≥ 2.0						5.5号機(メイン管理AT) ※入賞Sim出玉率 < 1.0 (入賞Sim出玉率1未満規制) 傾斜値 < 2.0 (傾斜値2枚規制)						ATタイプ 傾斜値2枚以上 新台設置期限								
新台設置	サブ管理AT、ART												ATタイプ(再遊技確率が変動しないタイプ) A+ART、ARTタイプ(再遊技が変動するタイプ) 傾斜値: 2.0~3.0枚								
	ARTタイプ(再遊技確率が変動するタイプ、主にARTで出玉を増やす) 傾斜値: ~1.99枚(CTBBのボーナスを含む)												A+ARTタイプ(再遊技確率が変動するタイプ、ボーナスとARTで出玉を増やす) 傾斜値: ~1.99枚(BB、RB等のボーナスを含む)								
	ノーマル・RTタイプ(指示機能非搭載機)												ノーマル・RTタイプ(指示機能非搭載機)								

製造業者連絡会 Ver2 2015/10/14

「入賞Sim出玉率1未満規制」を発しているが、今回これに加え、MYが2万枚を超えない具体的な方策として、新たな自主的措置「傾斜値2・0枚規制」を講じたことになったもの。今回の「傾斜値2・0枚規制」は「入賞Sim出玉率1

未満規制」に合わせて、12月1日以降に型式試験申請する回胴式遊技機から適用するものとし、それ以前に型式試験申請された遊技機で「傾斜値2・0枚規制」の内容を満たしていない新台の設置は来年7月末までとするとしている。

産業環境管理協会会長賞

株ユーコーリプロが受賞 システム関連で

一般社団法人産業環境管理協会(富澤龍二会長)は10月16日、「平成27年度(第20回)リサイクル技術開発本多賞、資源循環技術・システム表彰、3R先進事例発表会」を東京・芝公園の機械振興会館で開いた。(株)ユーコーリプロが「資源循環技術・システム表彰」で「産業環境管理協会会長賞」を受賞し、引き続き行われた3R(リデュース、リユース、リサイクル)先進事例発表会で廃台部品のリユース事業に関する発表を行った。

リサイクル技術開発本多賞とは、長年廃棄物リサイクルの分野に携わった元・大阪市立大学工学部教授、故本多淳裕氏の著書出版印税を、3R関連開発に関する研究者・技術者へ提供し、研究及び技術開発を奨励する目的で設立された表彰制度。

ユーコーリプロの発表は、同社統括部長兼営業部長、桜木章造氏が「使用済み遊技機から取り外した部品等のリユース事業」と題して行った。同氏は遊技業界でのリサイクルの取組み、日工組遊技機回収システムに則った使用済み遊技機の主な流れを説明した上で、同社の遊技機回収センター・リサイクル工場の活動とリサイクル率、部品の再利用の実態を説明した。さらに、リユースの促進による業界内外での資源の有効活用や製造コスト削減などの効果に触れ、今後の展望としてこれらの処理が製造過程の一部となるようリサイクルの確立を目指す述べた。



遊技機部品のリユース事業について発表するユーコーリプロ、桜木氏

中古機流通協議会

要綱改正を12月施行 7～9月 証紙報告

第96回中古機流通協議会（委員 長・伊坂重憲 全日遊連副理事長、全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商で構成）が10月19日、全商協会議室で開かれ、委員12人、オブザーバーら29人が出席し、7、8、9月の中古用と認定の確認証紙発給状況が報告された。

全商協関係の中古用稼働実績は、7月が6万704件、10万3540台、8月が4万7122件、8万7115台、9月が5万1530件、9万1191台だった。

認定申請は7月が1314件、2154台、確認証紙発行枚数2184枚、8月が2313件、3636台、確認証紙発行枚数3662枚、9月が1736件、3158台、確認証紙発行枚数3185枚だった。

一方、回胴遊商関係の中古用稼働実績は、7月が2万9853件、5万1146台、8月が2万116件、3万7966台、9月が2万5446件、4万4541台だった。



健全化要綱などを協議した中古機流通協議会

認定申請は7月が838件、5563台、確認証紙発行枚数5781枚、8月が2014件、3861台、確認証紙発行枚数3967枚、9月が2239件、3757台、確認証紙発行枚数3974枚だった。

中古遊技機流通健全化要綱の一部改正案（「遊技機の転売時に残債がないこと」「設置先営業所の営業

者が所有者であること」を明文化）が前回に引き続いて審議された。

健全化要綱第12条（保証書の作成）第1項に「取扱主任者及び販売業者は、営業所から点検確認を依頼された中古遊技機について設置先の営業者が所有権を有していることを確認するものとする」の文言が新たに設けられたが、さらに「ただし、設置元の営業者と同一営業者もしくは同一代表者の場合はこの限りではない」追加することが確認され、各団体の承認を得て12月1日から施行することになった。

東京都・関東支部役員会 流通健全化で協議

東京都・関東支部役員会議が10月23日、本部会議室で開かれた。日遊協親睦チャリティゴルフコンペ（10月29日）の実施要領を確認した。支部のセキュリティ対策部会（7月30日）、同交流・研修会（8月5日）の各実施結果が報告された。

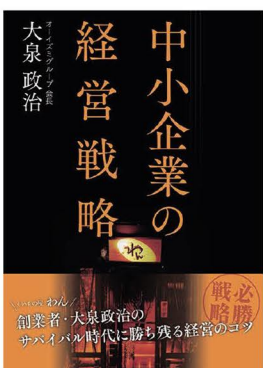
流通制度の健全化のため、日工組、日電協、日遊協の3団体で進められている新台入替と部品交換等のルールづくりに関して、フリートーキングが行われた。

『中小企業の経営戦略』

大泉政治氏が執筆

（株）オーイズミグホールディングスの大泉政治代表取締役社長（メダル工業会理事長）が『中小企業の経営戦略』（四六判 240ページ 定価税別1800円 発売・サンクチュアリ出版）を執筆し、11月25日に発行する。

先見性と創造力で、遊技機、外食、不動産、介護など多岐に渡って経済活動を成功させてきた著者が、中小企業の経営者のために具体的なアドバイスを展開している。サブイバル時代を生き抜くには、一つの事業に頼り切るのではなく、産業界を横断的に捉えて複数の事業を育てる分散型経営が重要だと説き、成功と失敗の分かれ道は「自分自身をモチベートする力があるかどうか」としている。遊、食、動、明に別れた各章に読者には目からうろこの実践が示されている。



海外起業家がパチンコ体験

30人が驚きと歓声
大阪・新世界
マルハンで

若手起業家の世界的ネットワーク、EO（起業家機構）は9月30日から10月4日まで、大阪、京都で海外の起業家約400人が参加した「EO Osaka University'2015《一期一会》」を催した。日本の文化・観光などが紹介される数々のイベントの中で10月1日、マルハン新世界店（大阪市浪速区恵美須東）でパチンコの体験・視察が行われ、外国人30人が一般客に混じって遊技を楽しんだ。

騒音には目を丸くし

女性をまじえた一行はこの日、滞在先のホテルからバスでマルハン新世界店へ。途中交通渋滞に遭い、約30分かけて到着した。同店はパチンコ・パチスロ1400台を擁する地域最大級の店。入店したとたん襲いかかってきた騒音に、一同は一瞬目を丸くした。店内は混んでいたが、めいめいが店員に案内されて空席に着席した。

店員の指導で各自が貸玉機に1000円札を入れて玉を借り、スタート。対戦した台は「フィーバ

真剣にパチンコ遊技を楽しむ外国人起業家たち



鋭い質問を連発し

このあと、店内の会議室で、マルハン取締役・経営企画本部長、藤田進氏がマルハンの経営理念、

マルハンイズムなどについて講演した。質疑応答では、「パチンコはなぜ客数が落ちてきたのか」「ヤクザとの付き合いはあるのか」「パチンコはゲームかギャンブルか」「依存症対策や法的な規制」など鋭い質問が出ていた。

今回の大阪での視察は、マルハン新世界店のほか、アサヒビール（株）と白鶴酒造（株）の各工場、近畿日本鉄道（株）で行われた。

EOは1987年に設立された若手起業家のネットワークで、本部は米バージニア州。46か国に144チャプター（分科会）がある。平均年齢42歳、1万人を超えるメ



藤田経営企画本部長（奥左）の講演を聴く一行（マルハン新世界店会議室で）

ンバーで構成され、平均年商は約50億円超といわれている。日本には「EO JAPAN」「EO OSAKA」「EO TOHOKU」の3チャプターがある。

リサイクル推進委員会

更新申請2社を保留

改善待ちと必要書類待ち

遊技機リサイクル推進委員会（座長・堀内文隆日遊協専務理事。全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、愛材協及び遊技機メーカー10社）が10月5日、東京・京橋の日工組会議室で開かれた。

更新申請が出されている中国地区のリサイクル選定業者2業者について審議した。1業者については、実査の結果、約3500台の廃台が解体されずに残り、部品等の保管にも不備が認められることなどから、改善策を待つて改めて更新を判断することとした。もう1業者については未提出の必要書類の到着を待つて決めることになった。

日工組、全商協、全日遊連から昨年度使用済み遊技機（廃台）のリサイクル量調査結果の報告があった。



強奪犯逮捕で感謝状 「まるみつ始良店」の連携

ひぐちグループ(長崎県、樋口益次郎代表)の「まるみつ始良(あいし)店」が9月16日、ひつたり事件に対する協力で鹿兒島県始良警察署長から表彰された。

事件が起こったのは9月9日、始良店で遊技後タクシーで帰宅した男性が自宅前で靴をひつたりされた。従業員が被害に遭ったため、鹿兒島県警が同店のビデオカメラで被害者を車で尾行する者を確認することが出来た。また、駐車場警備員が対象車両のナンバーを記録していたので、容疑者が判明し、緊急逮捕に至った。日頃の防犯に対する従業員の意識の高さが評価され感謝状を受けることになった。

なお、同グループの「まるみつ」は10月18日、長崎市の夢彩

都横おくんち広場で第6回目の献血活動を行った。献血車両1台を用意して、社員108人が参加、一般の人々にも呼びかけ多くの人が献血し、交流の場ともなった。

300人が合同参加 「すすきのごみ拾い」

第4回「すすきの地区・中島公園のごみ拾いボランティア活動」が9月25日、札幌市のすすきの公園一帯で実施され、同市内の遊技産業4団体などが参加した。回遊遊商北海道支部100人、北海道遊商94人、札幌遊協53人、日遊協北海道支部38人、町内会と警察15人の300人がごみ拾いに汗を流した。

回遊遊商の徳山健一支部長は「私どもがこの活動を初め他の6年前、合同実施になつて4回目。ますます町のために重要な行事になってきました」と挨拶した。

分別を徹底したごみの量は大型袋8個分の800リットルに及び、テレビ放送2社も注目し、取材をしていた。

サミー製など注意

セキュリティー対策部会

日遊協中部支部は9月29日、名古屋市中区・アイリス愛知で「中部支部セキュリティー対策部会」を開き、山口悟支部長以下18人と中遊商・矢野博セキユリティー対策委員長が出席した。

パチンコでは玉掛かり、磁石ゴト、パチスロではメダル持ち込み、電磁波ゴトなどが

報告され、化物語ZX、攻殻機動隊といったサミー製の遊技機が多く狙われていることを確認した。

会員・業界消息

住所・TEL・FAX変更

▼株式会社愛知商会
大阪市浪速区幸町2-3-37
606

TEL06-6567-5088
FAX06-6567-8967

社名・代表者・住所変更

▼株式会社クロスアルファ
(旧社名・株式会社アリス)
クラーテクノロジーズ)

代表取締役・別所直綱
東京都渋谷区円山町19番1号

代表者・住所変更

▼株式会社スパイキー
代表取締役・常盤浩久
東京都渋谷区円山町19番1号

連絡先担当者変更

▼株式会社安田屋
知念安光
FAX03-3959-5474

事務所移転

▼ニューギングループ
東京都中央区
日本橋茅場町2-9-4

営業本部販売促進企画課

TEL03-6661-9825
10月13日

代表者・住所等変更

▼株式会社大一商事
代表取締役・出浦稔
担当・総務チーム
名古屋市中村区
岩塚町3-2-203

DATA SPOT

全般的な「ジリ貧」が固着して

全日遊連は10月27日、店舗数、遊技機台数の2015年9月分を発表した。店舗数は前月8月(1万400店舗)と比較して35店減っている。1万365の店舗数は年間ペースだと昨年9月(1万714店)と比較して、この1年間で349店舗マイナスとなり、300店舗以上の減少が5か月連続となった。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス4万6945台(昨年9月270万3038台)となり、一方パチスロ機はプラス8526台(昨年9月149万5946台)上回っている。長期的、全体的なジリ貧傾向が固着しており、変化は見えてこない。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	278	+2
東北	604	-1
東京	622	+1
関東	1814	+1
中部	599	+3
近畿	1013	+3
中国	357	+5
四国	184	+1
九州	706	+8
全国計	6154	+23

(2015年9月30日現在)

平成27年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	10,638	13	33	135 (20)	2,699,996	1,507,334	156	4,207,486
2月	10,613	9	39	129 (9)	2,690,969	1,504,884	156	4,196,009
3月	10,571	5	51	125 (12)	2,689,043	1,505,010	156	4,194,209
4月	10,558	23	51	115 (11)	2,690,056	1,509,613	156	4,199,825
5月	10,480	3	78	104 (36)	2,672,875	1,501,585	156	4,174,616
6月	10,423	5	61	126 (24)	2,662,696	1,498,686	252	4,161,634
7月	10,407	7	40	112 (11)	2,660,478	1,499,430	156	4,160,064
8月	10,400	16	25	114 (14)	2,660,770	1,503,216	156	4,164,142
9月	10,365	10	40	120 (10)	2,656,093	1,504,472	156	4,160,721

TEL0522-419-0855
FAX0522-419-0866

10月14日

●社名・代表者・住所等変更

▼キリンビバレッジ
パリュールベンダー株式会社
(旧社名キリンビバレッジ株

株式会社)
代表取締役社長・横溝宗親
東京都中野区中野4-10-2
中野セントラルパークサウス
TEL03-6837-7120
FAX30-3319-5485
10月19日

全般的業況は良化 3か月後は悪化の予想

(株)エンタテインメントビジネス

総研はこのほど、第62回パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書(7月〜9月)をまとめた。収益・売上・粗利などから判断される全般的業況はマイナス34・4ポイントで、前回より9ポイント良化した

が、マイナス圏での推移は2011年12月時点以降16期連続となった。3か月後はマイナス50ポイント未満で悪化が予想されている。(表1)

事業規模別では、小規模事業者(1〜3店舗)がマイナス62・5ポイント(前回比8・9良化)、中規

表1 ●全般的業況 (事業者全体)

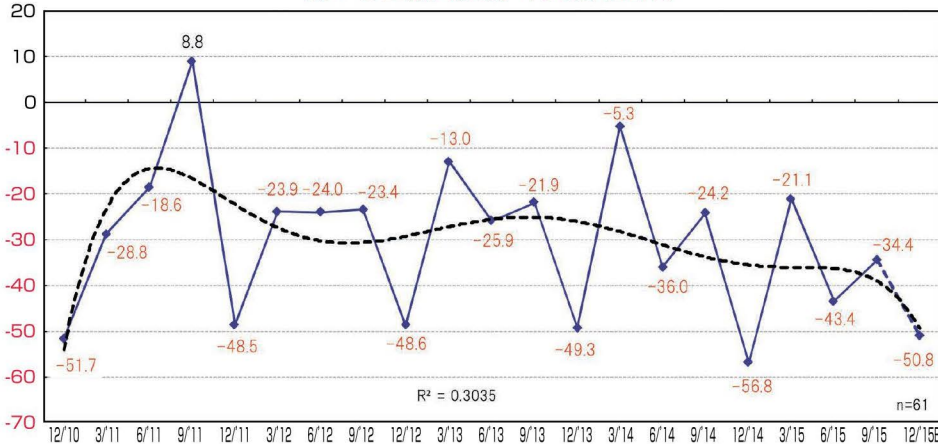
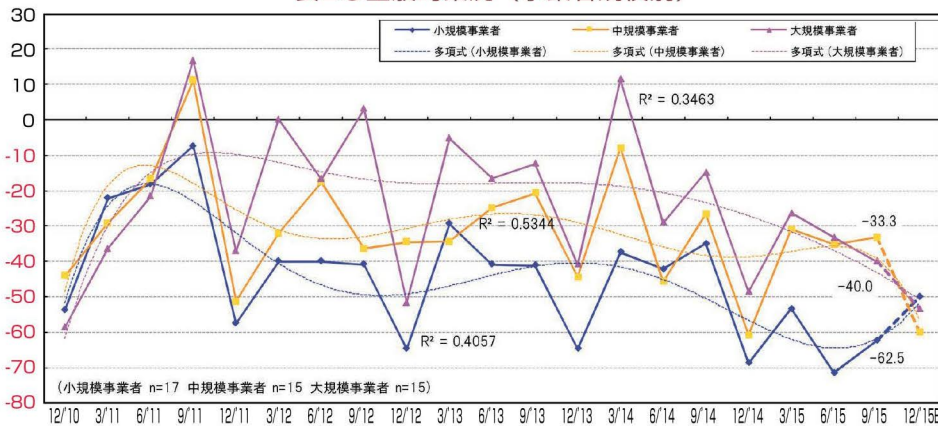


表2 ●全般的業況 (事業者規模別)



模事業者(4〜10店舗)がマイナス33・3ポイント(同2良化)、大規模事業者(11店舗以上)がマイナス40ポイント(同6・7悪化)と、大規模事業者で悪化が見られた。(表2)

パチンコ・パチスロ別の稼働状況では、パチンコはマイナス40・3ポイント(同12・3良化)、パチスロもマイナス33・9ポイント(同5・8良化)で、双方とも良化が見られた。

貸玉/貸メダルの料金別の稼働状況では、4円パチンコはマイナス58・1ポイント(同5・9良化)、20円パチスロはマイナス38・7ポイント(同6・8良化)だった。一方、低貸玉パチンコは0ポイント(同6・5良化)、低貸メダルパチスロはマイナス8・6ポイント(同7・3悪化)だった。低貸玉パチンコがマイナス圏から浮上したのははさる3月時点以来。3か月後の見通しでは、20円パチスロ以外で悪化が予想されている。

「仕入率の規定」の影響 「どちらでもない」多数

トレンド・ウォッチとして、地域で一斉に等価交換が廃止され、景品仕入率の規定が設けられた場合の影響を質問した。自社への影

響として、「通常遊技料金の稼働」「低貸遊技料金の稼働」「入替経費」「粗利益」の4項目で聞いたところ、いずれの項目でも「どちらでもない」が最も高く、次いで「プラスになる」「マイナスになる」が拮抗していた。

「どちらでもない」と答えた人のおもなコメントでは、「新しい基準をベースに、地域全体がシフトしていくと思う」(中国・中規模事業者)、「全県全店舗で足並みを揃えることが必要になるから」(九州・中規模事業者)等があった。「プラスになる」と答えた人のコメントでは、「今より遊べるようになり、客滞率も伸びると思う」(関東・中規模事業者)、「エリア内の全ホールで交換率が下がった場合、稼働がダウンすることなく、今より徐々に安定してくると思う。しかし、歩調が合わなかったら問題だ」(同)があった。一方、「マイナスになる」のコメントでは、「昨年

2014年度関連機器市場 矢野経済研究所

94%、774億円減にパチスロ機が暗転
大幅縮小の影響で

（株）矢野経済研究所はこのほど、「パチンコ関連機器市場に関する調査結果2015」を発表した。

2014年度のパチンコ関連機器の市場規模は1兆2232億円（メーカー売上金額ベース）となり、前年度比で94%、774億円のマイナス成長となった。

□調査結果の要旨は次の通り

【パチンコ機】市場の過半を占めるパチンコ機の市場規模は6437億円（同ベース）で、前年度比98・8%。5期連続のマイナス成長となったが、ヒット機の登場もあり、縮小幅は13年度に比べて穏やかになっている。

全国的なパチンコ機稼働の低迷によりホール経営法人では購入するパチンコ機の選別が厳しくなっているが、競合他店との差別化を目的に、実績が見込める機種には積極的に投資する姿勢が見られ、とくに規模の大小で機種戦略が異なる。ここ数年で新規店舗の設置台数が巨大化しており、そういった店舗を経営する企業に限れば、

主力機種のみは超大型規模の導入に踏み切る例も散見される。

購入厳選、開発費抑制へ

パチンコ機は市場規模が縮小する一方で、開発コストは年々高騰しているが、現状以上の開発投資は非効率、もしくは無意味との見解が多く、今後は品質向上を重視しつつも、効率性を重視して開発費の抑制が始まるであろう。

なお、16年以降はパチンコ機の射幸性が制限され、現市場を支えている射幸性の高い「マックスタイプ」機の販売が不可能になる。遊技機の収益性が低下することから、必然的にホール経営法人の遊技機購入はより慎重に、より厳選したものになる。全般的には販売ロットの低下は避けられず、遊技機メーカーは開発費等の費用を的確に精査する必要があると考える。

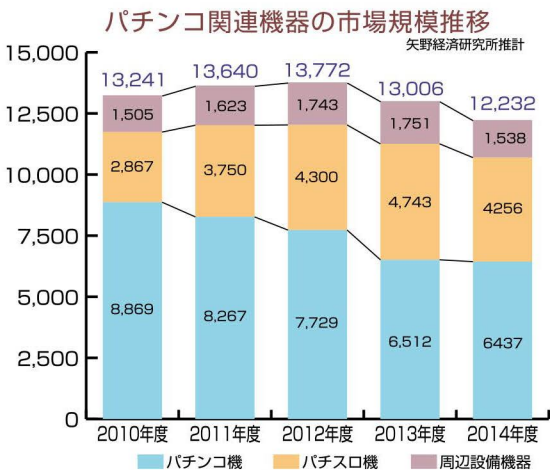
【パチスロ機】パチスロ機市場は4256億円（同ベース）で、前年度比89・7%となり、13年度までの4期連続のプラス成長から一転しての大幅縮小となった。パチス

ロ機も縮小トレンドに突入したことで、パチンコ関連機器市場の縮小傾向が加速する可能性が高い。

パチンコ機市場の低迷の反動からホール経営法人の投資はパチスロ機に傾き、パチスロ機市場への投資が続いていたが、引き続きパチンコ機市場の業績が振るわず、かつパチスロ機も高射幸に傾倒したことにより、全国的に稼働はピクアウトしている。販売台数上位の製品での販売ロットが低下傾向にあることから、15年度以降、パチスロ機の需要も弱まっていくものと考ええる。

周辺設備も暗転、格差拡大

【周辺設備機器】周辺設備機器の市場規模は1538億円（同ベース）と、こちらも前年度比87・8%



の大幅減となった。11～13年度はパチスロ機部門の好調が影響して付随する設備機器が伸び、それによって周辺設備機器市場も伸びていたが、14年度はパチスロ機の増設に付随する設備導入も減少し、また、新規出店・大型改装が減少したことが影響した。

周辺設備機器は、ホール経営法人の新規出店やリニューアル、経年劣化によるリプレイスが需要の契機となるが、厳しい営業環境が続くなかで決して事業環境が良好な訳ではない。その一方で新規出店の総数は少ないものの、一店舗あたりの規模が大型化する傾向にあり、そのため周辺設備機器の案件規模も大型になっている。とはいえ、全体の新規出店数が減少傾向にあるため案件数自体が減り、周辺設備メーカー間の格差が拡大している。

また、14年度はホールコンピュータ、景品POSの低迷が目立ち、それぞれ前年度比67・3%、75%の大幅減であった。これら製品は店舗の中核設備であり、15年度以降も新規出店店舗の増加は見込みがたいことから縮小トレンドが続くものと考ええる。